

# CDを聴く

- 本機にCDが入っているときは、接続した別売のメインユニット（CQ-MR555D、CQ-GX555D）のチェンジャースタンバイインジケータとチェンジャー番号インジケータ ■ が点灯します。
- CDを聴くときは、接続したメインユニットで、サウンドソース（音源）をチェンジャー（CHANGER）に切り替えて、チェンジャーと同様に操作してください。
- 詳細は、接続したメインユニットの取扱説明書をご参照ください。

## お知らせ

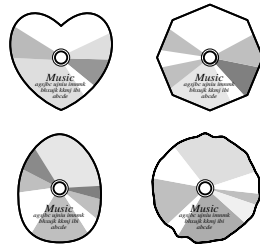
ディスクの選択、ディスクランダムプレイ、ディスクスキッププレイ、ディスクリピートプレイはできません。

## 特殊形状CDについて

ハート型や八角形など特殊形状のCDは、再生できません。故障の原因になりますので、ご使用にならないください。

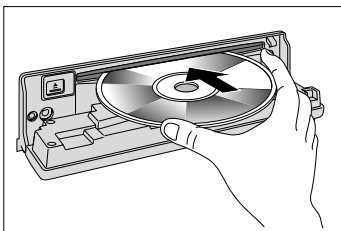


禁止



## CDを再生する

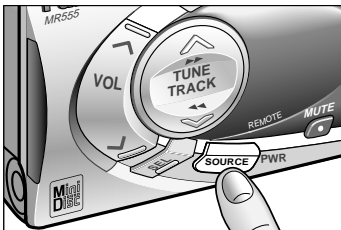
CDが入っていないとき（本機のCDスタンバイインジケータ消灯）



本機の操作パネルを開き、CDのラベル面を上側にして、CD挿入口に差し込む。

- 電源が“OFF”のときは、CDを挿入すると“ON”になります。
- CDの再生が始まり、本機のCDスタンバイインジケータが点灯します。

CDが入っているとき（本機のCDスタンバイインジケータ点灯）



例) CQ-MR555D

メインユニットのSOURCE ボタンを押して、チェンジャー（CHANGER）にする。

- CDの再生が始まります。

別売のCDチェンジャー（CX-DP801D / CX-DP1203D等）またはMDチェンジャー（CX-MD6D）を接続している場合には、メインユニットのチェンジャー番号インジケータが“■”（CHANGER）

## お願い

- CDアクセサリとして市販されているプロテクトフィルムやスタビライザーなどを使用すると故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- CDが完全に引き込まれてから、操作パネルを閉じてください。

## お知らせ

- CDが入っていないときに切り替えると、電源が“OFF”になります。
- 本機の操作パネルが開いているときは、CDのイジェクトしか操作できません。